



なぎそ

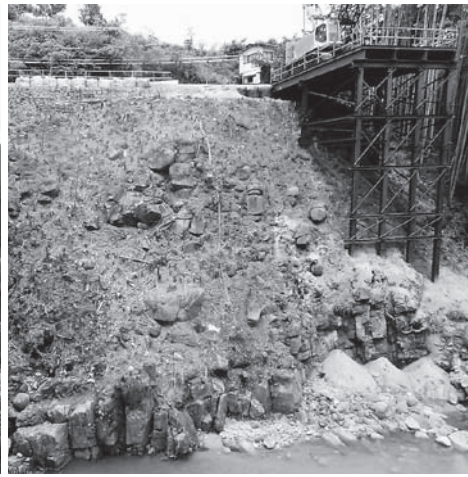
# 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和2年6月定例会・全員協議会



左上：桃介橋の主塔の補強をしています（令和2年8月までの予定）

右上：田立から坂下に向かう(主)中津川田立線、大滝川橋の橋脚・橋台の工事が始まりました

左下：天白公園線の法面は、国土強靱化事業で改良が終わりました（令和2年3月）

## 議会の眼 町内で行われている工事の様子

6月定例会……………14p

○6月定例会は、6月12日から6月22日の11日間の会期で開かれました。

☆町長所信表明……………15p

★議会で決まったこと一覽……………19p

☆請願・陳情の審査結果……………19p

☆補正予算(第5号)を可決……………20p

★一般質問…8人の議員が質問……………22p

☆全員協議会……………28p

- 新型コロナウイルス感染症対策等 **特集**
- 南木曽町新型コロナウイルス感染症対策
- 緊急経済対策 事業者支援
- 地方創生臨時交付金(実施計画)
- 令和2年度南木曽町結婚新生活支援事業
- 令和2年度ユーアイ住宅建設
- 医療に関するアンケート調査
- 6月11日～14日豪雨災害
- ケーブルテレビ光化(FTH化)工事
- 令和2年度南木曽町成人式

シリーズ「聞いて私の思い」……………29p

田立地域振興協議会会長 小倉 芳意智さん



## 向井町長 所信表明

向井裕明町長が行った、議会冒頭の所信表明全文です。

### はじめに

4月19日執行の町長選挙により、温かなご支援を頂く中で再び町政のかじ取りを担わせて頂くこととなりました。この重責を汚すことのないよう、心新たに気持ちを引締めて努めてまいれる所存です。議会はじめ町民の皆さんと一緒に、南木曾町をもっと元気に出来るように取り組む決意ですので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 予期せぬ敵を乗り越えて

新型コロナウイルスという予期せぬ難敵の出現に、社会は困惑し日常生活はじめ経済的にも大きな打撃を受ける事態となりました。この困難を乗り越えて行くためには叡智を結集して、ウイルスそのものに負けない防疫医療体制の強化と、

この病原体と向き合うことができる新たな社会への変革が求められています。南木曾町としてだけでも一自治体としてだけでなく、議会や町民の皆さん、全国の関係者・関係機関とも歩調を合わせながら取り組んでいく覚悟です。町としては2月以降、感染予防対策を最

優先として感染者を出さないための取り組みを進めて来ました。また改選期としては異例の5月臨時会で補正予算を認めて頂いて、経済対策にも手を打ち始めたところです。国県事業への対応をはじめ、町独自にも一定の行動制限効果と地域消費喚起をうながす商品券給付事業や、県の休業補償制度に必要な措置と対象外事業者へのフォローなどに取り組んでいるところですが、今後とも必要な対策をその都度、迅速かつ的確に取り組んでいくことが重要との認識であります。感染と拡大防止に向けては引き続き町民の皆さんのご協力が不可欠ですし、長期的な側面を覚悟すれば、議会においても時々の町内の様々な声や様子を届けて頂き、効果的な事業や対策についてのご審議を頂きたくお願い申し上げます。

さて、コロナ問題以外に目を向けてみますと、南木曾町の最重要課題はなんと言っても人口減少対策にあります。町が発足した60年前には1万人程いたった人口が、4,000人を辛うじて維持する状況となつてしまいました。今年4月1日時点の人口は4,065人で、この1年間で46人減りました。私が1期目に就任した年とその前年は、年間の減少数が共に1,000人を超える状態でしたので、この数字だけを見ると減少に歯止めがかかりつつあるようにも見えますが、この程度の増減は長い期間で見れば珍しくないことです。本当にブレーキがかかっているかどうかは、人口の減少曲線がなだらかくなって来たかどうかで判断することになります。社会人口研究所の予測通りとなれば、南木曾町も消滅可能性都市のひとつです。日本社会全体では人口減少は進むものの、南木曾町においての減少割合を予測よりも小さくするために、各種施策が結果として定住化や人口対策に結び付くように取り組んでいかなくてはなりません。町の様々な施策が、流失を一人でも食い止めるための歯止めとなり、一人でも多くの人に住んでもらうためのきつかけとなれるかどうかで結果は異なつてきます。「住みたい、住んでみたい」、「住んで良かった、暮らして良かった」と言える魅力ある町となるべく、4年間に取り組むべき諸課題や施策の方向性について述べさせて頂きま

### 若者が「住みたい」と言える町に

町の子育て・教育への満足度が高まっています。昨年度、地方創生戦略の2期計画策定に際して実施したアンケートからは、町の子育て・教育に対する取り組みについて、子育て世代の満足度が平均的に高まっているという結果が示されました。

これは先の4年間で、出産から子どもが18歳になるまでの長期間にわたって、ひとつひとつの事業は小さくても継続的な支援に取り組んできたことが評価されたものと受け止めています。不妊不育治療費の上乗せ補助に始まり、子育て応援給付金、乳児健診や親子歯科検診の拡充、保育園給食費無償化、入学祝品の贈呈、中3高3インフルエンザ予防注射無償接種、中学校学力検定補助など、この他にも小さいながらも幾つもの支援が継続的に行われています。今年度からも、議会からも要望のありました妊婦歯科検診を無償で始める準備を整えています。長期間にわたってその時々に必要な支援ができるように、今後とも子育て・教育支援に目を向けてまいります。

更にはもう少し下の世代、結婚したばかりの世帯や独身の若者に対しても、新婚さんや婚活をする若者などに具体的な応援を行っていくことで、町に住む全ての若い人に南木曾町を魅力的に感じて貰えるようにし、南木曾町に住みたい、住み続けようと思つて貰えるような取り組みを進めていきます。今回の商品券の若者・子どもへの上乗せ補助もその一環であり、若者・子育て世代への継続的な支援を人口減少対策、定住化推進策の重要施策と位置付けて取り組んでいきます。

懸案の保育園のあり方については、令和4年度には子ども園としての仕組みを取り入れて、保育に対する多様なニーズや教育改革の流れに適切していくための準備を進めていきます。移行にあたっては早い段階から具体的な園の姿を示して、様々な意見を聞きながらも保護者を中心とする関係者との協議を進めていきます。

放課後子ども教室については、今回のコロナ対応でも重要な役割を担っただけに、施設を充実させていくと

共に、スタッフの確保とよりスムーズな運営方法についての検討を深めていきます。

少子化・長寿命化社会の到来で時代の局面が大きく変わり、先の見通しづらい時代になっています。そんな中を生き抜いていかねばならない若者や子ども達には、新たな環境に立ち向かっていく逞しさと適応していくための能力が必要となっています。学校教育のみならず家庭教育や社会教育とも連携して、これからの社会に適合していきける元気で心豊かな「なぎのこ」(なぎその子の略)を育てていきます。また、町の将来を担ってもらう「なぎのこ」には、町や身近なことに意見を言える機会を作ること、子どもの頃から自分が住む地域を意識し、ふるさと南木曾への愛着と誇りが持てるような取り組みを進められたらと考えます。

小中学校においては、コロナ対策には遠隔授業が欠かせないことから、整備が急がれるICT教育や情報教育に必要な設備と環境の充実に向けて、児童生徒全員に端末機器が行き渡るよう準備を加速させていきます。また行政的な立場からも、引き続き学力向上に向けた支援が出来るように現場との連携を図っていきます。

「南木曾の給食はおいしい」と言われている食育では、これまで通り地元農産物の利用を含めた安全で安心な給食となる体制維持に努めていきます。

障がいを持っていたり支援が必要な子ども達に対しては、現在も早い段階から保健師や保育園・学校などが連携して対応を行っています。今後とも家庭と関係機関の連携を密にしながら、乳幼児期から成人に至るまで継続的な支援体制の充実を図れるように包括的子育て支援センターの運用を行っていきます。木曾養護学校への通学支援については、保護者の声も聞きながら町として出来る支援を進めていきます。

蘇南高校の総合発表会が年を追うごとに充実したものとなっています。昨年度は県大会で蘇南高生が最優秀賞に輝き、全国大会の切符を手にするまでに至りました。地域の学校としての蘇南高校を、今後とも町独自

の支援制度を継続しながら支えて、地域や地元企業に密着した人材育成と人材確保を図っていきます。

南木曾に住みたいけど家がない、土地が無いといった声に応えるべく住環境整備を進めて来ましたが、引き続き単身住宅の整備や空き家の活用などの対応を進めていきます。現代の若者に不可欠な通信環境については、今年度中に広域ケーブルテレビの光化工事を完了させ、高速ブロードバンドやWi-Fiの利用は勿論のこと、医療・福祉・教育・観光・防災などへの活用や、スマホやタブレットを活用した先進的な取り組みにチャレンジしていきたいと考えます。とりわけスマホ世代ともいえる若い世代には、機会を見つけてはスマホを活用した取り組みを推進していきます。

また今回のコロナ対応の一環として注目を浴びているリモートワークはじめサテライトオフィスといった勤務形態にも着目しながら、コワーキングスペースの整備などによる移住受入の間口を広げ、特に2027年中津川市・飯田市に開業予定のリニア駅を見越した準備にもつなげていきます。中津川市や郡内6町村の一層の連携を図りながら、在来線の接続強化や木曾方面への2次アクセスの整備、更には行動圏域拡大に繋がる国道19号の雨量規制区間の抜本的改良、木曾川右岸道路の早期供用開始、主要地方道の改良促進などにも取り組んでまいります。

リニア新幹線については、対策協議会を中心に積み重ねてきた生活や環境へのリスク削減交渉をより具体化させていくとともに、開通後を見据えながら、活用構想の中から岐阜県駅を中心とした現実的な方向性や行動目標を見出して、効果を最大限に活かすための取り組みを推進していきます。

以上のように、若者や若い世代にも魅力が感じられる施策により定住化を促していくと共に、子ども達も将来は故郷に住もう、或いは一度は出たとしても必ず戻って来ようと思えるような町づくりを目標に取り組んでまいります。

※1 ICT教育：パソコンやタブレット、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育  
 ※2 ブロードバンド：高速かつ大容量のデータ通信ができるインターネット回線  
 ※3 Wi-Fi：無線通信を利用したネットワーク接続

## 「住んで良かった」と言える

### 一人一人が健康で幸せになれる町に

人は誰しも健康で幸せな生活を望んでいます。一人一人の幸せな生活の土台となる健康づくりには、安心できる医療・福祉体制が欠かせません。残念ながら坂下病院は元年度から坂下診療所となり大幅な機能縮小となっていますが、こういった状況だからこそ尚更に町のお医者さんと歯医者さんを町全体で支えて守っていくと共に、先生方にも協力いただきながら健康づくりの推進と、町の医療・福祉の進むべき方向を見出していかねばなりません。

また救急医療体制をより充実強化すべく、木曾病院や中津川市民病院との日頃からの連携体制を確かなものとしておくことと、いざという時のために、近年利用回数が増えているドクターヘリのためのヘリポート整備を進めていきます。

市民病院への通院バスなどの交通手段については、早い内に利用者実態アンケートを実施して動向を把握する中で必要な対応策を見つけていく考えです。

現在、町の国民健康保険の特定健診の受診率が長野県内で2年続けて2番と言う好成绩部門があります。これに合わせるかのように国保での一人当りの医療費も、かつては高い方の上位の常連だったのが、29年度は11番、30年度は37番、元年度は速報値で57番と県内の平均水準まで下がって来ています。これらの評価には長期的な検証が必要ですが、受診率向上と言う実績は、医療保健関係者の働きかけと町民の皆さんの健康に対する意識が確実に高まっていることの表れであることに間違いありません。こうした成果をこれからの施策に活かして一人一人の健康づくりを確実に推進し、今後とも町全体で連携し力をおかせながら諸課題に取り組みしていきます。一方で、町の福祉の屋台骨ともいえる社会福祉協議会や木曾あすなろ荘では、人材不足や財源確保の厳しさから苦しい運営が続く状況となっています。町としても常に情報を共有しながら協力出来ることを見つけ、支えていくこ

とが必要となっています。人生100年時代を迎えた中、生き生きと健康長寿で過ごせるように健康教室や運動教室、介護予防事業などを計画的に行っていくほか、介護する側を支援する側にも目を配り、また障がい者に対する支援など、多様な支援ニーズに応えられるように各団体と協力しながら、身近で頼りがいのある福祉施策を推進していきます。

県が力を入れている自殺防止対策への取り組みを継続していくと共に、交通安全や高齢者を犯罪から守るための事業を引き続き推進します。高齢者運転免許自主返納制度については、返納手続きが町交番など身近な場所から出来るように要請をおこなっていきます。

南木曾町は地形的な制約から上水道の普及率が他の自治体に比べて低い状況となっていますが、簡易水道に限り込める可能性がある場合は、給水軒数が少なくても積極的な対応を心がけていくとともに、小規模簡易給水施設については、地区との話し合いを基本にしながら計画的な整備や修繕を進めていきます。また下水道や農業集落排水事業の加入促進と、浄化槽整備事業により整備率を向上させながら、快適な生活環境の確保に努めていきます。一層のごみの減量を進めるために、分別の協力を資源再利用に向けた啓発活動を行っていきます。さらには自然環境やエネルギー問題などにも目を向けながら、CO<sub>2</sub>削減や地球温暖化防止に役立つ取り組みについて、意識を高めながら検討を深めていきます。

## 誰もが「住むなら南木曾」と言える

### 元気がふれる町に

町が元気になるために欠かせないのが、なんといっても地域経済の活性化とコミュニティの維持、人材の育成です。地域経済の活性化策のひとつとして、小さくても町内で経済が回る仕組みを作り出すことが重要です。今回のコロナ対策の一環として実施中の商品券給付事業も、感染拡大防止や経済的な支援に加えて、地域の中でお金が回ることを考慮したものです。6月10日時点

で、商工会での換金状況は37店舗、約12,297千円とのこと。7月末の期限までには使い切った貰えるように周知を進めて効果を高めたいと思います。

妻籠分館建替えの準備が始まりました。どうせ作るなら南木曾の物を使って、南木曾の事業者が関わり、南木曾の人達が建てる仕組みを作り出さなくてはなりません。今回の事業がモデルケースとなるよう、町内で経済を回すひとつの事例として確立させたいと考えています。

また他地域や町外との交流を活かしながら、町の力の足りない部分や小さな町だけでは賅えないところを、下流域や都市部の人達から力を貸して貰えるような関係を今後とも活かしていく考えです。長久手市や名城大学などとの協定をもとにした連携をはじめ、名古屋市の尾張藩運搬事業、大同特殊鋼とのだいの森整備事業など、今後とも良い関係が築けるように交流を進めていきます。

森林環境譲与税の交付開始にともない、手入れの行き届かない山林の整備に向けて本格的な準備を進めると共に、地元町村の裁量に任せられる部分を林業の活性化や木工品の販路拡大などに繋がるよう木工・林業関係者とも連携を図りながら進めていきます。とりわけ譲与税の交付が前倒しされたことで確実な成果を示す必要にも迫られていることから、今年度創設された広域連合森林整備推進室ともよく協議を踏って取り組んでいきます。クロコ細工やヒノキ笠など伝統工芸品については、地域おこし協力隊も加ってブランド力に磨きをかけながら販路拡大と定着に努めていきます。

被害が増大する一方の有害鳥獣対策では、猟友会などの声に耳を傾けて支援体制の強化を図っていきます。農業においてはJAとの協力体制をもとに、遊休農地の利活用や特産品づくりを推奨するとともに、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を継続して、農家支援と農村共同体の維持に努めていきます。

ふるさと納税制度を利用した町への寄付金がこの4年間で大きく増えました。田立のお茶を使った「お茶だに〜」が一昨年発売されましたが、返礼品に登録の少

ないこれら農産物を増やすなどの工夫した取り組みで利用者を増加させたいと考えます。また、寄付金の利用目的にコロナウイルス関連の項目をも追加して、善意の受入に対応してまいります。

コロナ禍で大きな打撃を被っている観光業、そしてインバウンド復興へ向けた取り組みについては、事態を見守りながらも必要な対応を進めていかねばなりません。この春に開業したばかりの一般社団法人南木曾町観光協会には、今こそ存在感を示せるように町としてもバックアップ体制を敷きながら、一緒になって観光業の建て直し策を見出せるように努めていきます。観光産業は宿泊、飲食、土産物、運輸、地場産品など幅広い分野に影響を持つ総合産業だけに、再生に向け町としても全力で支援に取り組んでまいります。

妻籠地区においては、本年度から実施される町並み環境整備事業を着実に進めると同時に、駐車場会計に頼りきりだった保存事業のあり方について、特に財源の確保と事業の進め方の見直し検討作業を早急に進めていきます。

人口減少が進む中で地域を維持していくためには、長年にわたって築き上げてきたコミュニティや人の絆をもとにした活動や組織を活かしていくことが大切です。公民館活動はもとより、チャレンジクラブや健康マラソン大会、若者交流会議、なぎのこマルシェなどの活動を町としても支援をしていきます。また従来の行政組織や町関与の団体については、役員の選出方法などをはじめ、世帯数や構成人員の減少といった実情に沿って見直しや検討を進めます。文化活動では伝統芸能の保存活動支援や、アーカイブ（記録保存）のための町内文化財、動植物の調査や町史の編纂作業などを進めて、現在の歴史文化を記録としてとどめて後世へ伝えられるようにしていきます。

南木曾町の行政を担うにあたって、忘れてはならないのが防災への取り組みです。平成26年の梨子沢蛇抜け災害の復興が進み、ようやく通常の生活に戻ってきたところですが、長年にわたって整備を進めてきた砂防・治山事業や、防災無線施設などのハード整備を一層向上さ

※4 サテライトオフィス：企業や各種団体などの本拠地から離れたところに設置された事務所や施設  
 ※5 コワーキングスペース：同じ組織や職務に限らず、共同利用型の仕事環境を実現するために用いられる場所

せると共に、これまでの教訓やいざという時の心構えを怠らないように、防災訓練やハザードマップの配布などによるソフト面での対策にも力を入れて、個々の防災意識と地域防災力の向上を図っていきます。

また、木曾川の増水対策についても国県へ粘り強く要請を続け、早期の河川整備計画策定と、既存ダムの治水機能対策の実現に向けて取り組んでいきます。同時に、国が進める防災減災対策に適応した整備事業が取り入れられるように、町としての国土強靱化計画を本年度中に策定していきます。

住民の皆さんや地域の声を聞かずして、町づくりは成り立ちません。話を聞くことは町政の基本とも言えます。直接顔を合わせる中で、町の状況や具体的な事業などをお知らせできるように、地域に向かい行けたらと考えます。これまでもお気軽に三集会を実施してきましたが、開催実績が地区によって差があることや町政報告会も年々集まりが悪くなっている傾向からも、地域振興協議会とも相談する中でより工夫した取り組みに向けて協議を進めていきます。職員の皆さんには、身近で・親しみのある町政(役場)とするために「住民の皆さんの話を聞く」、「地域に関わる」、「出来ることはすぐにやる」ことをお願いしたところです。また女性感覚を町づくりに活かすべく公的団体における女性登用や活躍の場を見出せるように努めていきます。今回のコロナウイルス対応でも活用した災害時緊急時を想定したタイムラインに基づく職員行動計画や、いざという時の業務継続計画についても、ことあるごとに見直しを行いながら、非常事態に対応できるリスクマネジメントに取り組んでまいります。

以上、南木曾町をもっと元気にするための各種施策の一端を申し述べました。

## もっと元気な町となるために

今年が町政施行60年の節目の年です。人間でいえば還暦、赤いちゃんちゃんこを着る年です。還暦とは文字

※6 タイムライン：(Ⅰ防災行動計画)災害の発生を前提に、「いつ」「誰が」「何をするか」を防災行動と実施主体を時系列で整理した計画  
※7 リスクマネジメント：(Ⅰ危機管理)起こりうるリスクを想定し、その損失の回避や低減を図るための対応

通り、千支の十千と十二支の組み合わせが60年で一巡りすることに由来するもので、2回目から新たな時代に入ったとも言えます。南木曾町にとっての1順目は、人が増え、物が豊かになり、新しい道や建物がどんどんと出来た時代だったと言えます。2順目となるこれからの時代は、1順目とは逆に人は減り、豊かさは形だけでは判断できない、それも個々によって異なる時代となっていくでしょう。とりわけ今は時代の変換点でもあり、例えるなら山を登り切り平坦もしくは下りにさしかかった時であり、その進み方自体も不安や戸惑いを感じながらのものとなっています。

しかしながら、どんな時代になろうとも私達の故郷がここにあることは変わらず、いつの時代にも住む者があり、暮らす者がいます。町にとって解決していかねばならない時々の課題は数多くあります。その課題も一朝一夕に解決できるようなものではありませんが、と言って何もしないのであれば南木曾町は衰退の一途をたどるだけになってしまいます。そうならないためにも、今できることを、今やらなければならないことに取り組んで、一歩でも二歩でも前へ進むことが大切です。

この町に住む者が「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾」だと胸を張って言える町にするために、皆さんと一緒に町づくりを進めていく決意です。故郷南木曾が元気になるための各種施策に、職員ともども精一杯取り組んでまいり所存です。そのことで地域が元気になり、町が元気になり、そしてここに住む人々が元気になる。南木曾町がもっともって元気になれるよう、町も議会も町中の皆さんが同じ方向を向いて進んで行くことはありませんか。

与えられた4年間を誠心誠意努めてまいります。皆様のご支援、ご理解、ご協力を頂きますよう重ね重ねお願い申し上げます。

「もっと南木曾を元気に」  
どうぞ宜しくお願い致します。

## 議会の主な動き

- 3月 1日 衆議院議員 後藤茂之氏との懇談会
- 25日 南木曾町消防団幹部引継会
- 4月 1日 南木曾町職員等辞令交付式
- 5日 南木曾町消防団入退団式
- 14日 南木曾町議会議員一般選挙告示
- 20日 南木曾町議会議員一般選挙当選証書付与式
- 23日 南木曾町議会第1回臨時会
- 28日 木曾郡町村議会議長会
- 5月 12日 南木曾町議会第2回臨時会
- 6月 11日 (主)飯田南木曾線改良促進期成同盟会総会  
国道256号改良促進期成同盟会総会
- 12日 南木曾町議会6月定例会(22日)

## 議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。  
※6月の議会は、2日間で11人の傍聴がありました。



## 6月定例会 可決議案一覧表

予算関連議案		賛否
● 令和2年度 補正予算	・一般会計の補正は9,873万2千円増額し、総額45億4,040万8千円となります。	審議内容掲載P.20~ 全員賛成
一般議案		賛否
● 令和元年度南木曾町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	細野洞地区小水力発電施設建設事業、国土強靱化事業、防災行政無線(移動系) デジタル化更新事業など15件が令和2年度に繰り越されました。	全員賛成
● 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	令和2年6月30日をもって東筑摩郡筑北保健衛生施設組合が脱退することにより、長野県町村公平委員会共同設置規約の一部を変更するものです。	全員賛成
● 令和2年度小型動力ポンプ付普通積載車2台購入	取得金額：2,193万4,000円 契約の相手方：CSK 総合防災株式会社	全員賛成
条例の改正		賛否
● 南木曾町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	一般職の職員の給与に関する法律改正に伴い、同法を引用し定める当該条例の損害補償に係る補償基礎額を改定するものです。	全員賛成
● 南木曾町税条例の一部改正	・新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴う改正です。 ・地方税法等の一部を改正する法律が公布されたもののうち、令和2年10月1日以降に施行される改正です。	全員賛成
● 南木曾町国民健康保険条例の一部改正	新型コロナウイルス感染症の国内の感染拡大防止の観点から、国が緊急的・特例的な措置として、保険者に傷病手当金の支給をするよう規定を加えるものです。	全員賛成
● 南木曾町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	長野県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部が改正されたことに伴い、傷病手当金の支給申請書の提出の受付等に係る事務を、町が行う事務に加えるものです。	全員賛成
● 南木曾町手数料徴収条例の一部改正	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、通知カードが廃止されるため、通知カードの再交付手数料について削除するものです。	全員賛成
● 南木曾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	運営に関する基準の一部を改正する内閣府令に基づき、町の条例の一部を改正するものです。	全員賛成
● 南木曾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	厚生労働省令の一部改正により、放課後児童支援員の認定に伴う研修、認定要件等の改正に合わせ、町の条例の一部を改正するものです。	全員賛成
● 南木曾町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	厚生労働省令の一部改正により、放課後児童支援員の認定に伴う研修、認定要件等の改正に合わせ、町の条例の一部を改正するものです。	全員賛成
同意案件		賛否
● 副町長の選任	勝野 実 (再任)：南木曾町吾妻	全員賛成
● 教育委員会の委員の任命	岡田 政晴 (再任)：南木曾町読書	全員賛成
専決処分事項の報告案件		賛否
● 事故の和解及び損害賠償額の決定	側溝清掃中に朽木が落下し、車両屋根部を破損させた事故について損害賠償した報告です。	全員賛成

請願  
陳情

### ● 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

提出者 長野県町村議会議長会 会長 下平 豊久 結果 不採択

趣旨：議員のなり手不足の問題は、深刻さを増している状況です。国民の幅広い政治参加や議員を志す新たな人材確保のため、国に対し各町村議会の声を上げていただきたい。  
不採択理由：町におけるなり手不足は厚生年金制度への加入だけの問題ではない。木曾郡の議長会でも意見はまとまっておらず、町議会は平成28年にも不採択としている。

# 補正予算審議概要

令和2年6月期予算（一般会計、特別会計）が可決されました。

## コロナウイルス対策

**要望** 国保税減免について、他の自治体では減免判定の簡易フローが作られていたり、申請用紙は様々な書式で作成されていたりする。町でも分かりやすい申請書の作成や申請しやすい工夫をお願いしたい。

**Q** 郡内では、コロナ禍の影響で売上が一定額減少した事業者は上下水道料金を免除される自治体もあるようだ。町として上下水道の減免などは考えていないのか。

**A** 町は支払猶予で対応しています。事業者からの相談は3月に1件ありました。現段階での支払猶予の実績はありません。減免の具体的な相談はありませんので、当面は減免ではなく支払猶予で対応します。

**要望** 検討をお願いしたい。

## 有害鳥獣被害の対策

**◆サル被害への対策は**

**Q** 今年はサル被害が多いが被害状況は。

**A** 今年はまだサル被害については寄せられていません。

**Q** 農家は中山間地手当てなどがあるが、家庭菜園への補助は何かあるか。対策や支援をお願いしたいが。

**A** 電気柵の設置に対する補助制度があり、家庭菜園でも対象となります。被害に遭い対策を取りたい場合は、町に相談をしていただきたいと思います。

**要望** 補助制度について知らない人もいます。周知徹底・被害に遭わない対策をお願いしたい。

**◆クマ被害への対策は**

**Q** クマ捕獲後は、タグがつけられて放獣される。最近、クマ出没が頻発しているが、新たな被害が出ない

ように、改めて対策を検討しなければならないと思われるが。

**A** タグ付きのクマがもう一度檻にかかった場合の対応は、町での判断が可能になります。今後、住民の皆さんに安心していただけるよう状況をみた対処をしていきたいと考えています。

**Q** 子どもたちの登下校の対策について、スクールバスが自宅近くまでいかないう路線もあり、保護者が迎えに行く場合も休みを取る必要がある。子どもたちもタクシーを利用できるようにするなど対策を検討していただきたい。

**A** バスの路線延長や子ども教室で対応するという意見もありました。各家庭の事情を考慮し、検討課題として部内で協議したいと思えます。

**意見** 教育委員会だけでなく町全体として交通体系の見直しをお願いする。タクシーもコロナ禍で影響が出ている事業者である。経済再生のためにも、早急に取り組むべきでは。

**◆緩衝帯による対策を**

**Q** 緩衝帯整備は時間を要するが、地域や猟友会から

要望などあれば、町民の安全を考え、素早く対応していただけるのか。予算計上はされていないようだが。

**A** 町の安全を守るために、要望を受け緊急に求められることに対しては、準備費を使っても対応したいと考えています。

## 国道19号の安全性は

(渡島〜中学校の歩道)

**Q** 国道19号線の渡島地区

から中学校までの歩道では草木が伸びている。特にセアカシヤはトゲがあり、通学する生徒が危ないと思われるが、町の考えは。

**A** 昨年、県では三留野信号機付近の支障木伐採を行っていただきました。通学に支障があるという話も出ており、今年6月上旬に木曾建設事務所長が来庁した時に今年度事業の説明があったため、本件も話しました。引き続き、県に要望を

令和2年6月期補正予算 (6/22決)

一般会計補正予算 **9,873万2千円を増額**

総額 **45億4,040万8千円に**

**●会計別補正予算** (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計	98,732	4,540,408
国民健康保険特別会計	3,451	343,324
簡易水道事業特別会計	24,633	237,420
下水道事業特別会計	3,080	79,828
農業集落排水事業特別会計	2,608	74,897
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1,071	111,554

**●一般会計補正の主なもの** (単位：千円)

事 業 名	金 額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の見込みによる総務費補助金	55,513
道路維持補修事業一般修繕料の見込みによる土木費	4,000
旧妻籠小学校取壊費	3,000
中学校維持管理費 (ロッカー移設・エレベーター部品交換)	2,650
結婚支援推進事業の見込みによる結婚支援補助金	2,400



草木が伸び出る国道19号の歩道

挙げていきます。

**Q** ニセアカシアは根もとから切る必要がある。対応していただきたい。

**A** 県では検討をしていただけるとのことでしたので、決まり次第周知します。

**上在郷地区 水道施設**

**Q** 上在郷地区の水道施設の状況は。

**A** すでに通水はしていますが、設置したばかりですので、現在は水圧などの調整をしている段階です。

**要望** しっかりとした対応を。

**リニアに関する水源対策**

**Q** 尾越地区から妻籠地区までの配水計画は。

**A** 工事に関連する水源は、水量減少や濁水となった場合には、床浪本谷から水を引くように考えています。水源確保の方法などについては、J Rと協議を重ねているところです。

**小中学校ネットワーク 環境整備**

**Q** 小中学校内ネットワーク環境整備の内容は。

**A** 校内LAN整備として、校内のどこでもタブレットを持っていけばインターネットにつながるというもので、今回の工事では回線速度を1ギガから10ギガに引き上げます。

**Q** タブレット導入費について、具体的な内容は。

**A** 1人1台とし、小中学校で300台導入を予定しています。すでに小中学校に30台ずつ設置されているものについては、先生が指導用にする予定です。全国的な事業のため入荷の遅れが考えられますが、既存のタブレットは持ち出し可能な状態で遠隔授業もできます。数は限られているので、小学校6年生や中学校3年生には優先的に対応したいと考えています。

**読書保育園整備**

**Q** 遊具修繕費では、遊具移設が行われているようですが、駐車場整備工事と合わせて実施すれば予算を抑えられるのでは。

**A** 予算の都合上、整備工事は単独で実施しました。遊具移設についても、移設場所の判断に時間を要しました。

**Q** 進入路は舗装されているが、駐車場自体が舗装されていないのはなぜか。

**A** 進入路の舗装は設計で見込んでいましたが、事業費予算の都合で駐車面は舗装できず砕石で対応することとなったためです。

**Q** 下の駐車場は砕石だが、上の駐車場は砕石になっていない。舗装の予定は。

**A** 上の駐車場まで工事が行き届かなかったため、教育委員会でも検討していきたいと思います。

**妻籠地区**

**◆妻籠町中線工事の進捗**

**Q** 妻籠町中線の工事が遅れているが、理由と全体の計画は。

**A** 工事遅れの主な理由は、国の補助事業を活用する中で予定の予算が付かなかったためです。妻籠町並み交流センター（妻籠分館）建設は、できるだけ有利な補助を受けたと考え、国交省が行っている50%補助の事業を活用することになりました。ただし、採択を受けるには交流センターだけでなく妻籠地区全体での計画が必要でしたので、①町中線の舗装と②防災管施設や看板などの整備、③交流センター建設を実施計画内の事業として行います。ヒアリング後に内示額が下がってしまい、③が最優先と判断したため、①と②は今後の実施計画の中で見直しを含めて検討していきたいと考え、今回は予算を減額しています。12月議会までには、町の方向を示したいと思っています。

になるのであれば、充分な説明をお願いしたい。

**◆遺構調査の実施とは**

**Q** 遺構調査を行う理由は。

**A** 過去の妻籠地区下水道工事の際の調査記録で、しっかりと協議のうえ記録を残しておく旨の記載があり、県に相談をしたところ、下水道は部分的だったが、今回は舗装で全体にわたるため、遺構調査をするように指示があったためです。

**◆旧妻籠小学校解体は**

**Q** 旧妻籠小学校の解体時期は。内部の片づけや備品類はどうするのか。希望者への奇与も考えているか。

**A** 8月に入札を行い、9月頃から準備が整い次第、解体を行います。備品類で必要なものは、小学校や会館に移動しました。地元団体の備品類も残っています。卒業記念で残っているものはどうするかという話も出ていますので、相談しながら進めていきます。

なお、町中線は国の史跡、妻籠地区は重伝建の選定エリアになっており、県教委および文化庁の指導により遺構調査を工事前にするようにとのことでしたので、調査費として計上してあります。

**要望** 住民の皆さんは実施すると思っている。先送り

**結婚新生活支援**

**Q** 240万円計上されているが算出根拠は。

**A** 国庫補助30万円が6組、町単費補助15万円が4組として、限度額で計算しています。

**Q** 家賃も対象経費で月払いとなるが、補助対象期間の考え方は。婚姻届を提出するタイミングによっては、支援に差が出てきてしまうのでは。

**A** 申請日を基準として、新生活を開始した月から当該年度末の3月まで補助されます。基本的には、国の支援に基づく内容となります。

**要望** 世帯Aは国補助だが世帯Bは町単独補助となる。家賃は月払いなので差がないように世帯Bでうまく調整するなど工夫してほしい。新婚への支援として頑張っていたいただきたい。

説明をお願いしたい。



新設された読書保育園の駐車場



解体予定の旧妻籠小学校



## 6月定例会

# 8人の議員が一般質問

### ◆赤坂 孝 議員

所信表明の柱となる施策や対策は

### ◆矢澤 和重 議員

若者のニーズに沿った支援で定住推進を

### ◆近藤 隆 議員

高齢者福祉の充実を

### ◆坂本 満 議員

町長2期目の所信表明を問う

### ◆早川 親利 議員

中山間直払交付金に該当しないその他農地を、どのように守るか

### ◆松原 崇文 議員

子どもたちの成長を喜べるようにコロナ禍の影響に負けない努力を

### ◆田中 晃 議員

人口減少問題に対応し、経済活性化と後継者不足対策を

### ◆伊藤 寿子 議員

コロナ禍による環境変化を上手く利用した取り組みを

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

## 所信表明の柱となる施策や対策は

所信表明の柱となる  
施策や対策は

**Q** 所信表明が行われたが、柱となる施策や対策は何か。また、各事業や担当課と課題への対策はどのように行うか。

**A** コロナ対策は別として、最大の課題は人口減少対策です。町で子育てをしたり、出生数も増えてその子どもが町に住み、さらには移住を増やすために、各施策が定住化や人口減少対策につながるようになりたいと思います。

①若者が「住みたい」と言える町、②一人一人が健康で幸せになれる町、③元氣あふれる町を3本柱として、その下に枝分かれで各事業があり、さらに担当部署ごとに分かります。同じ目標に向けて、担当課で総合計画、地方創生戦略、実施計画に反映させていきます。

コロナ感染予防対策は万全か

**Q** 教育現場、医療体制、PCR検査実施、弱者対策など対策は万全であったか。

**A** 小中学校は必要に応じて臨時休校を行い、校内では慎重かつ安全に感染予防に対応しました。医療体制の崩壊などは無く、介護施設では親族の交流を避け、寄付されたマスクの配布をしました。予防策として全戸配布のチラシや広報による周知をしました。

**Q** 役場職員の在宅勤務による業務への影響と、各自宅の設備状態は、

**A** 業務への大きな影響はありませんでしたが、設備は整っていませんでした。

**Q** 町独自の商品券や支援給付金の効果は

**A** 町独自の施策で行った経済対策効果は、



赤坂 孝 議員

**A** 配布した商品券の使用率は1ヶ月で5割と消費喚起効果が出ています。感染拡大防止の休業要請の協力に対する支援金給付は予防対策に加えて業者支援にもなったのではないかと思います。

**Q** 今後も自粛となつた時に同様の施策を行うのか。

**A** 同じ施策ではありませんが、うまく消費喚起につながるような施策により、状況を見ながら対応していきたいです。

みなし法人への対応は

**Q** みなし法人への対策について、町の考え方は。

**A** 国の持続化給付金の上乗せに関連するもので、全協を踏まえ町として任意団体も対象とします。

## 若者のニーズに沿った支援で定住推進を

所信表明の「若者が「住みたい」と言える町」に

**Q** 「若者」の定義は、町の緊急経済対策事業では、20代だったが、今回も29才以下とするのか。

**A** 若者の定義は事業によって異なりますし、29才以下ということや20代ということでもありません。所信表明でいう「若者」とは、これから町を担い支えてくれる若い人や、その期待をしている人たちと考えています。

**Q** 「若者を支援する町づくり」に力を入れる」とあるが、若者の定住推進のための具体的な施策について、町長の考えは。

**A** まずは、町の将来を担ってもらう子どもたちに故郷の良さを知ってもらい、愛着と誇りが持てるような取り

組みを行いたいと考えます。また、子育てや教育、住宅などの支援を継続するとともに、

独身者や新婚世帯に対しても具体的な応援をしていきます。「こんなことがあったらいいな」という意見に対し、早いうちに対応できるような応援をしていくことが定住に繋がると思っています。

**Q** 定住につながるには住居が必要だが、町には新築に対する補助が無い。家を建てようと思っている若者を応援するべきでは。新築補助金の支援をお願いしたい。

**A** 地方創生事業の中に検討事項として載っているため、他事業や財源などの考えと合わせながら検討していきたいと思えます。

### 財政対策への考えは



矢澤 和重 議員

**Q** 財政対策について町長の考えは。

**A** 一般会計の主な財源は、町税を中心とした自主財源、国や県からの補助金、交付税などの依存財源、起債などによる借入金によって賄われており、人口や事業所が減ると町への税金も減少します。

三つの柱として掲げた人口減少対策や地域経済活性化対策は、町の財源確保にも連動しており、一人一人の健康づくりは医療費負担軽減につながっています。大企業誘致などは難しい状況ですが、目標に掲げた各種政策を着実に進めることが税収確保につながるのだと思います。また、地域の中で経済を回す施策も重要な仕事だと考えています。

## 高齢者福祉の充実を

認知症予防に補聴器の補助を

**Q** 今年の日本の高齢化率は28・9%で、5年後は30%となる。町は、これをはるかに超えるペースで進んでいるが、町の高齢化率と認定介護率の推移、将来推計は。

**A** 左の表のとおりです。

**Q** 高齢化により要介護者や認知症の方も増えてくると思われる。特に認知症については、予防・早期発見が重要だが、町ではどのような対策を行っているか。

**A** 認知症の予防には会話が大切であり、そのために補聴器が大事であることは認識しています。

年度	高齢化率	介護認定率
H28	41.3	19.9
H29	42.3	19.5
H30	42.5	19.6
H31 R元	42.8	19.7
R2 見込	42.9	20
R7 見込	43.6	20

補聴器は機種がたくさんあり、販売店に補聴器の専門技術者の有無など一定の補助基準を定

**A** 介護予防事業としてパワーアップ、認知症カフェ、地域ではサロンなどの開催をしています。

**Q** 認知症の原因の一つに難聴がある。難聴が進むとコミュニケーション力が衰えるため、高齢者は孤立し認知症に進んでしまう。それを防ぐために補聴器が大事かと思われるが、町として認知症予防を目的に補聴器の補助はできないか。

**A** 認知症の予防には会話が大切であり、そのために補聴器が大事であることは認識しています。



近藤 隆 議員

める必要がありますので、調査検討します。  
**要望** 人生100年時代を迎え、いきいきと健康長寿で過ごせるためにも補聴器補助を前向きに検討されたい。

高齢者などの個別避難計画の策定は

**Q** 今年も梅雨に入り、大雨被害が懸念される。要支援者や高齢者に対する個別の避難先や避難方法を示した避難計画書の策定は。

**A** 地域支えあいマップで対応していますが、今後、様々な災害に対応できるよう研究します。  
**意見** 高齢者が住み慣れた地域で、安心して健康に暮らしていただける町を目指していただきたい。

# 町長2期目の所信表明を問う

コロナ対策の今後  
身近に救急医療機関を

Q 新型コロナウイルス感染症対策の中で、今後この木曾南部周辺、坂下地域も含めて、身近に救急医療を担う医療機関が必要ではないか。

A 身近なところに救急医療機関があれば誰しも嬉しいことですが、新たに病院の計画は、見通しさえ立てられない状況だというのが正直なところです。ヘリポート整備を考えていますが、救急医療対策の妙案があれば、町としてもできることを進めていきたいです。

子ども子育て支援

アンケート結果の特徴  
Q 「南木曾町子ども子育て支援事業計画第2期」と、第1期のアンケート結果と比べると、5年間でアンケート対象者が半減して



坂本 満 議員

いるのが大きな特徴だ。  
A 新たな課題として子育て世代が減少していることを受けとめて、しっかりと分析して対応していく必要があります。

町の子育て施策、教育施策への満足度が高まっていますが、さらに期待に応えられるように進めていく考えです。

子育て支援ハンドブックの全戸配布を  
Q 3月に作成した「子ども子育て支援ハンドブック」には町が長年積み重ねてきた子育て支援策がまとめられている。

若者を呼び込む柱となる政策と連動させて、このハンドブックを町内全体に配布できないか。

A 子育てを家庭や行政だけでなく地域も一緒に支えていく意味で、ハンドブックの配布に意義はあるのではと思います。具体的な方法

を検討して行きたいと思えます。

リニア計画の遅れと「環境影響評価書」の見直し

Q リニア計画の遅れは、静岡県だけでなく南木曾でも難しい状況になっているのではな  
いか。2027年開業を大前提とした「環境影響評価書」の見直しが必要ではないか。

A 町の工事も含め、当初計画より遅れ気味であるという認識を持っています。

工事着手時に工程に無理があったり大幅な変更があれば、JR東海は工事説明会後に県に提出する環境保全計画書に必要な事を記載していくべきで、県と何かしらやりとりして進めて行くものとして理解しています。

# 中山間直払交付金に該当しない その他農地を、どのように守るか

その他の農地の状況

Q 町の基幹産業の農業における農業従事者の高齢化や後継者不足などは、喫緊の課題である。

町の中山間地域等直接支払事業制度（以下、中山間直払交付金とする）に該当する農地、その他の農地の面積はどのくらいか。

A 左の表のとおりです。  
Q 該当する農地163haは、国や町から約

中山間直払交付金における  
町内農地

区分	田面積 (ha)
該当する農地	163
その他の農地	43
全体	206

3600万円の補助金で草刈り・農業用水路・農道などを維持管理しているが、その他の農地43haの維持管理には補助金がない。今後、その他の農地をどのように守っていくか。

A 自力で維持管理を行う場合、圃場整備は30万円の補助金、農業用水路整備はU字溝などの原材料支給、農道整備は生コンクリートなどの支給を行っています。また、乗用草刈り機などの無料貸し出しも行っています。

その他の農地に  
町単独の維持制度を

Q 中山間直払交付金に該当する農地は地域や団体でまとまって維持管理をしているが、その他の農地は、一人もしくは少人数で行っており、自力での維持



早川 親利 議員

制度はなかなか利用できないのが現状だ。町単独で、その他の農地も維持できる制度ができないか。

A 昨年からですべての農地を維持するために「人・農地プラン」の作成を推進しています。また、その他農地も中山間直払交付金を利用できるように検討や助言したいと思います。

意見

中山間直払交付金に該当する農地でも遊休農地が増えており、その他の農地はもっと深刻な状況だ。隣の農地は草が伸びて水路は漏水し、猪や鹿が出没する中で農業を行っている。その他農地も、町単独の中山間直払交付金と同じような制度の確立をお願いしたい。



小学校下校風景

子どもたちの成長を喜べるように  
コロナ禍の影響に負けない努力を

授業の日数不足や  
遅れへの対応は

Q 5月25日より通常登校に戻り、現在は小中学校の児童・生徒ともに元気に登校し、落ち着いて授業を受けている。

コロナ禍の影響で授業日数不足が問題とな

A 本年度の登校日は、小学校で204日、中学校で203日を予定していました。

Q 授業の遅れをどう取り戻すのか。行事の見直しも考えているのか。

A 小中学校とも夏休みの短縮を考えています。中学校については、6・7月に土曜登校を3日間行う予定です。行事については、影響があると思われるが、大きな行事に関しては規模を縮小して行いたいと考えています。

Q 小中学校での新型コロナウイルス感染症の対策は、どのようにしているか。

A 本年度の登校日は、小学校で204日、中学校で203日を予定していました。



松原 崇文 議員

Q 健康チェックや手洗い励行、施設の消毒、こまめな換気、密を避けるために距離を確保する、マスク着用などです。

A 健康チェックや手洗い励行、施設の消毒、こまめな換気、密を避けるために距離を確保する、マスク着用などです。

第2波への備えを

Q 第2波に備えるため、マスクや消毒液の備蓄はあるのか。

A 現段階では、一定量は確保しています。

意見 今までと違う一年になるが、子どもたちには一つでも多くのことを経験させ、3月には成長を喜べるように努力をお願いしたい。

人口減少問題に対応し、経済活性化と後継者不足対策を

小売店の事業継承は

Q 現在、町にある10店舗の食料品小売店の中で、事業承継問題も計画している店舗を把握しているか。

A 後継者のいる店舗は2店です。重要な問題だと考えており、どんな対策ができるか声を聞きながら、できる限りの支援をしていきたいと考えています。商工会などと連携しながら具体的な対策をしていきます。

Q 町に残る食料品小売店は2店舗のみで、早急な対応が必要と感

A 現段階では、一定量は確保しています。

意見 今までと違う一年になるが、子どもたちには一つでも多くのことを経験させ、3月には成長を喜べるように努力をお願いしたい。

体的な対策は。

Q 商工会の商業振興事業計画に食品小売業の活性化計画が企画されており、連携して支援していきたいと考えています。

A 商工会の商業振興事業計画に食品小売業の活性化計画が企画されており、連携して支援していきたいと考えています。

観光事業者の事業継承

Q 町の観光事業者は妻籠宿に45店舗ほど存在するが、その中で事業承継問題が計画されている店舗は何店舗あるか。

A 商工会によると7店舗のみで、いずれも事業承継事業計画の作成には至っていません。

意見 事業承継では医療関係や木工業者などでも大きな問題を抱えている。緊急の問題として各関係機関、商工会や観光協会などと連携し、住民も含めて町が一体となり、各施策に取り組みべきだ。環境の変化に対応し、町長のリーダーシップを求める。



田中 晃 議員

観光地づくりを目指すところだが、後継者不足の中で、現状を分析し体質改善を図らなければ妻籠宿を中心とした町の観光の将来に不安を感じる。観光立町として町の観光をどのように推進していくのか。

A まず現状を的確に把握し、できる限りの支援をしていきます。観光協会では、町内を回り新しい観光商品づくりに着手したと聞いています。観光協会と連携を図り新しい観光地づくりを推進したいと考えています。

意見 事業承継では医療関係や木工業者などでも大きな問題を抱えている。緊急の問題として各関係機関、商工会や観光協会などと連携し、住民も含めて町が一体となり、各施策に取り組みべきだ。環境の変化に対応し、町長のリーダーシップを求める。

## コロナ禍による環境変化を 上手く利用した取り組みを

### 町内発症時の手順は

**Q** 住民に症状が出た場合の対応は。また感染者が複数人出た場合、木曽病院（4床）だけで対応できるのか。岐阜県への要請は可能か。

**A** まずは医療機関への相談か保健所に連絡をしたうえで、検査の有無が決められます。検査結果により保健所の指示に従うことになります。

**Q** ホテルなど軽症者の待機場所の確保は。

**A** 県がそういった場所の確保に努めているとのこと。

**Q** 観光客への対応など宿泊および観光業者にマニュアルのようなものを配布したらどうか。

**A** 観光業者には県から出された文書の内容を、すでに配布しています。

### マスクの寄付の受付

**Q** 寄付したい場合、回収ボックスなどの設置は。

**A** 今のところ設置の予定はありません。備えとして持っていてほしいですが、寄付については役場へ持ってきていただければ受け付けています。

**Q** コロナ禍により、都会の若者や非正規労働者は生活もままならないと聞く。田舎への移住を考える人も多いようだ。他自治体で実施している移住体験用トレーラーハウスのように大胆な発想を考えると。

**A** 町にとっても重要な取り組みとなりますので、知恵を出し合っ

**Q** コロナ禍により、都会の若者や非正規労働者は生活もままならないと聞く。田舎への移住を考える人も多いようだ。他自治体で実施している移住体験用トレーラーハウスのように大胆な発想を考えると。

**A** 町にとっても重要な取り組みとなりますので、知恵を出し合っ

**Q** コロナ禍により、都会の若者や非正規労働者は生活もままならないと聞く。田舎への移住を考える人も多いようだ。他自治体で実施している移住体験用トレーラーハウスのように大胆な発想を考えると。

**A** 町にとっても重要な取り組みとなりますので、知恵を出し合っ

**Q** コロナ禍により、都会の若者や非正規労働者は生活もままならないと聞く。田舎への移住を考える人も多いようだ。他自治体で実施している移住体験用トレーラーハウスのように大胆な発想を考えると。

**A** 町にとっても重要な取り組みとなりますので、知恵を出し合っ

**Q** コロナ禍により、都会の若者や非正規労働者は生活もままならないと聞く。田舎への移住を考える人も多いようだ。他自治体で実施している移住体験用トレーラーハウスのように大胆な発想を考えると。

**A** 町にとっても重要な取り組みとなりますので、知恵を出し合っ



伊藤 寿子 議員

手狭になったこともあり、地方創生臨時交付金を受けて増築したいようだが、地域への分散を考えてはどうか。各分館は日中ほとんど空いており、保育園の統合問題もある中で、地域の空き施設を利用してはどうか。

**A** サポーター確保や様々な課題も含めて、検討していきたいと思っています。

### シトラスリボン運動

**Q** シトラスリボンとは、「地域・家庭・職場（学校）」をモチーフに、3つの輪からなるシトラスカラーのリボンでコロナ禍による差別をなくそうと他自治体で考案されたものだが、町でも検査のヒデ

**A** 良いアイデアですので、関係者に伝えていきたいと思っています。

**Q** シトラスリボンとは、「地域・家庭・職場（学校）」をモチーフに、3つの輪からなるシトラスカラーのリボンでコロナ禍による差別をなくそうと他自治体で考案されたものだが、町でも検査のヒデ

**A** 良いアイデアですので、関係者に伝えていきたいと思っています。

## 木曽広域連合議会報告

5月27日に開催された令和2年第2回定例会の主な内容は次のとおり。

### ●議会の構成（改選）

議長：榎本力（木曽町）、副議長：下出謙介（王滝村）  
 総務常任委員会委員長：松井淳一（木曽町）  
 福祉環境常任委員会委員長：上田とめ子（木曽町）  
 経済観光常任委員会委員長：鈴木 武（大桑村）  
 議会運営委員会委員長：山崎隆二（南木曽町）

### ●行政報告概要

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部の設置
- ・令和2年度職員体制：総勢134名（3名増）
- ・3月に「養老ホーム木曽寮移転改築計画」を決定
- ・4月から「森林整備推進室」を新設

### ●一般質問：

- ・山崎隆二議員（南木曽町）
  - 1) 新型コロナウイルス関連の対応状況
  - 2) 広域連合として今後取りうる対応

### ●同意：監査委員の選任 古畑 一夫（木曽町）

### ●承認：令和元年度一般会計補正予算（第5号）

減額1041万3千円、総額40億6539万5千円

### ●報告：令和元年度一般会計繰越明許費など

### ●工事契約：

- ・令和2年度木曽地域高度情報化網光化促進工事  
13億7280万円（NEC ネットスエスアイ株式会社）
- ・令和2年度木曽クリーンセンター旧炉施設解体工事  
2億6590万円（神稲・加藤特定建設共同企業体）

### ●条例の一部改正：

- ・議会の議員の議員報酬並びに特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例
- ・木曽広域連合介護保険条例  
コロナ対策のための介護保険料減免の規定

### ●予算関係：

- ・令和2年度一般会計補正予算（第1号）  
707万2千円を増額、総額47億8143万4千円。  
人事異動に伴う人件費減、コロナ対策費の増など。

- ・令和2年度介護保険特別会計補正予算（第1号）  
減額357万9千円、総額43億1259万円

- ・令和2年度下水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収支：

14万3千円を増額、総額1億3851万6千円

## 質疑 ①町の新型コロナウイルス感染症対策

**Q** 定額給付金の交付状況は。

**A** 6月11日現在で、1657件（95.07%）、4084人のうち3942人（96.52%）です。申請方法は、役場窓口480件、郵送1162件、マイナンバー15件、未申請は86件、辞退は1件です。

**Q** 小中学校の授業日数は確保できるのか。

**A** 夏休みの短縮、行事などの見直し、中学の土曜日登校などで必要時間は確保できる見通しです。

**Q** 猛暑の時期になるがコロナ対策としての換気をどうするか。

**A** 密閉にならないように、冷房運転しながら窓を開けて換気をする予定です。

**Q** 町民が感染した場合の対応は。

**A** 多様なケースが考えられるので、まずは保健所に連絡し指示を受けながらの対応となります。

**Q** コロナウイルス対策として、まずインフルエンザの予防接種も必要では。

**A** 今後のコロナの状況を見て感染症の流行期に向かって、インフルエンザの予防接種の住民への喚起も必要と考えます。

**要望** 避難指示をするときや避難所の設置の対応などについて、住民への周知を検討していただきたい。

- ②町の緊急経済対策、事業者支援のための「南木曾町持続化給付金（仮称）」
- ③国からの地方創生臨時交付金による実施計画
- 説明項目は次のとおりです。

①南木曾町における新型コロナウイルス感染症対策。資料は「南木曾町新型コロナウイルス感染症対策（第12版 20200601）」

## 新型コロナウイルス感染症対策特集

## 全員協議会

議会と町の意見交換

（6月12日・6月22日）

## 質疑 ②町の緊急経済対策「南木曾町持続化給付金（仮称）」

**Q** 国の持続化給付金に申請できない「みなし法人」などの事業者も対象事業者にしてほしい。

**A** 国の制度に合わせていますが、検討したいと考えます。件数が増えると思いますので随時、補正で対応していきます。

**Q** 失業した人など生活に困窮している人への支援は。

**A** 今後、個人や生活に困っている人たちについても考えていきたいですが、色々情報を得ながら検討したいです。

**要望** 国の持続化給付金に申請できない事業者は、何も貰えない。町独自の対策なので補助率を優遇するなど検討してほしい。

## 質疑 ③地方創生臨時交付金とその実施計画について

**Q** タブレット300台は小・中学校合わせて300人ということか。

**A** 当初は令和5年度までに1人1台の体制が国の基本的な考え方でしたが、コロナの影響で遠隔授業の必要性が高まったということで、前倒しをして今年度中に1人1台体制にということになっています。

**Q** 遠隔授業が始まった場合に、家庭でのネット環境、Wi-Fiは各家庭に整備されているか。

**A** 小・中学校でインターネットの接続機器の環境を調査し、小・中学校とも大体8割くらいは接続できる環境があるようですが、家庭のネットワーク環境の詳細を確認する必要があると考えています。

**Q** 1学年1クラスで教室が狭いが、現状ですとこのまま続けていくのかどうか。

**A** 教室について中学では今回ロッカーを廊下に出したりして少しでも距離が取れるような対応をしています。

**Q** 先生たちの負担は非常に大きい。教員の増員の話は県も含めて検討課題になっているのかどうか。

**A** 正規の職員の確保や増員についてはまだ具体的な通知などはきていません。

**Q** 雇用調整基金も難しい問題があって、国、県、ハローワークに行って相談した結果、従業員の中に1人でも正社員がいれば調整金が出るが、すべてパートだといっさい出ないようだ。その辺を考慮する考えはないか。

**A** ハローワークと県の相談会を毎週定期的に何回か商工会で行います。専門の人が相談に乗ってくれるので、可能性のあるところを申請していただくことが最初になるのかと思います。

**要望** 失業した人や労働日数が減って収入が減った人、生活保護や要保護、準要保護の家庭を対象にして、本当に困窮している世帯への支援事業の項目を、実施計画の中に入れていただきたい。事業者ばかりでなく個人も本当に大変なところがあると思う。

**Q** 駅前飲食店の利用者の交通確保とは。

**A** なるべく町内の飲食店に足が向くようにするための交通の足で、タクシー利用ができるような仕組みや、商品券とうまくコラボするように考えていきたいが、まだ検討中の段階です。

**要望** 若年層を中心とした生活弱者の救済、地域の消費を喚起するため、引き続き商品券の検討を。

**要望** 介護関係の施設のコロナ対策に対する負担感などに対する支援策を。

令和2年度南木曾町結婚新生活支援事業

説明概要

南木曾町に住所登録のある新婚世帯に対し経済的不安を軽減するため、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト（住宅の新築および購入または賃

貸住宅の家賃、引越費用など）の支援を実施するものです。国の制度適応者は最大30万円、町の制度適応者は最大15万円の支援が受けられます。

質疑 令和2年度南木曾町結婚新生活支援事業関係

Q 制度開始を令和2年1月1日としたのはなぜか。もっと前倒して対象者を増やせないのか。

A 国の制度を活用したものであり、開始時期も国の制度と合わせています。

要望 南木曾町独自の考えを入れてほしい。

Q 対象期間は「令和2年1月1日から令和3年3月31日に婚姻届けを提出した者」となっているが、この期間が終了すれば制度も終了するということが。

A この期間後も毎年更新し、継続して実施していく計画です。

令和2年度ユーアイ住宅建設計画

説明概要 6月12日

単身用ユーアイ住宅の建設計画です。戸数は3戸で駐車場も3台分確保し、町への単身

者受け入れ態勢を整えたいと考えています。  
 ■地区…読書地区住吉町  
 ■予算…3800万円

質疑 令和2年度ユーアイ住宅建設関係

【6月12日】

Q 計画場所は町の一等地であり、3戸だけというのは少ないと思う。2階建てにするなど棟数を増やすことはできないのか。

A 建設用地の問題や費用の問題もあり、専門家の意見も踏まえ3戸の計画となりました。

Q 住宅は建て替えも難しく、安易に変更できない。棟数を増やすことを諦めずに考えてほしい。学校も近く一等地であるため、単身より家族向けの住宅が望ましいのでは。考慮していただきたい。

A ご意見を考慮して計画の再検討をします。

Q 現在の町営住宅の利用状況は。

A 5棟空室があり入居者募集を行っています。ニーズはあるため、供給過多の心配はないと思われます。

Q 住宅耐用年数や費用対効果も考えて今後の町営住宅建設計画に反映させてほしい。

A 既存住宅の状況や今後の事情も考慮し、トータル的な計画として反映させていきます。

【6月22日】

Q 1棟増えたことは良いが、駐車場と建物の位置を入れ替えた方が良いのでは。さらに棟数を増やす方法を諦めずに考えてほしい。

また、建設用地にレッドゾーンがある。地盤対策は十分できているか。

A 住宅計画を進めている今が、地盤補強対策のチャンスとも考えています。ブロック積工法で対応できると考えています。

要望 安全面を十分に考慮した建設設計をお願いしたい。安全対策を充分施した場合の費用増加も含め、改めて報告をお願いしたい。

Q 単身者用住宅となっているが、本当にニーズがある施設なのか疑問だ。また、前面道路にあるカーブが大変危険であり、住宅工事と合わせて道路改良ができないのか。

A ご指摘いただいた交差点の道路改良計画は検討していますが、交差点全体としての改良計画のため、ユーアイ住宅前面道路の改良は含まれていません。今回、ご指摘やご意見をいただきましたので、危険対策面での費用増加も精査し、改めて提案したいと思えます。

説明概要 6月22日

12日の全員協議会でいただいた意見をもとに計画見直しを行い、2階建てで単身者用4棟に変更して提案するものです。

6月11日～14日豪雨災害

説明概要

6月11日～14日の豪雨により発生した災害の概況は左表のとおりです。

災害箇所	件数	概算被害額
道路・河川	17箇所	20,000千円
農地・林道	13箇所	8,650千円
合計	30箇所	28,650千円

■今後の対応について  
 応急復旧および測量設計を実施するために、早急に専決対応をお願いします。

医療に関するアンケート調査の実施

説明概要

平成29年度・30年度と医療に関するアンケートを行ってきました。今年度は、7月に区長配布を行い、8月下旬に回収し、10月末までの集計を予定しています。

今回のアンケートは、近隣の医療機関の利用状況に大きな変化があ

ケーブルテレビ光化

説明概要

町では、令和2年度木曽地域高度情報光化促進事業が始まります。木曽広域連合で入札が行われ、受注業者はNECネットワークスアイ株式会社に決定し、神戸地区に地元現場事務所が設置されることになりました。光ケーブル敷設開始は8月以降になります。

コロナの影響の中で…

地域では人口減少・高齢化が進み、地域のつながりや助け合い、文化、伝統の維持継承が難しくなりつつあります。

最近では、異常気象による災害、有害鳥獣の被害も増えています。さらに、今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延で緊急事態宣言が出されるなど、地域の行事や活動が思うようにできなくなっています。宣言は解除されましたが、外出を自粛したりイベントの制限は続いています。田立地区でも秋の花馬祭りも中止となるなど私たちの仕事や生活に大きな影響が出ています。

地域一緒に意欲をもって

こうした中、協議会では地域の皆さんが安全に楽しく暮らせるよう地域の整備や町への要望、交通安全や防災の活動、親睦を深めるイベントの開催などの活動に地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

いろいろな大変な時期ですが、地域が抱える身近な課題は、地域が主体となって取り組むことが求められています。

地域の皆さんと一緒に意欲をもって、地域を住みよくすることに取り組めればいいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

聞いて  
私の思い

田立地域振興協議会  
会長  
小倉 芳意智さん



編集後記

新型コロナウイルス感染症が、私たちの生活に大きな変化をもたらしています。

4月の町長と町議会議員選挙は無投票になりました。選出された議員は、コロナ対策のなかで4月、5月の臨時議会、6月の定例会に臨みました。

議会報はコロナ禍における町の対策状況を伝えるため、前期の3月議会からコロナ対策特集を掲載しています。議会報特別委員会も新たなメンバーとなり、既に臨時議会の報告をしました。議会のように分かり易く伝わり、後日の資料にもなるような議会報を目指しています。忌憚のないご意見をお待ちしています。

編集委員

- 坂本 満 (記)
- 伊藤 寿子
- 田中 晃
- 矢澤 和重